

2022年3月期（第24期）決算の概要等について

株式会社札幌ドーム（以下当社）は、本日開催の定時株主総会、その後の臨時取締役会および臨時監査役会におきまして、以下のとおり2022年3月期（第24期）の決算を報告するとともに、取締役2名が選任され、就任いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2022年3月期（第24期）決算概要

※百万円未満および1万人未満切り捨て

○売上高	31億85百万円	（前期比70.5%増）
○経常利益	3億90百万円	（前期は77百万円の経常損失）
○当期純利益	2億24百万円	（前期は81百万円の当期純損失）
○総イベント開催日数	115日	（前期比16日増）
○総利用日数（設営撤去等を含む）	253日	（前期比89日増）
○稼働率	69.3%	（前期比24.4ポイント増）
○イベント来場者数	75万8千人	（前期比59.0%増）
○観光来場者・一般市民利用者ほか	4万8千人	（前期比26.4%減）
○総来場者数	80万7千人	（前期比48.6%増）

・現在も新型コロナウイルスの影響で厳しい状況は続いておりますが、前年に対しイベント日数や来場者数の増加およびオリンピックサッカー競技の長期利用があったことから売上高は31億85百万円となり増収増益の黒字となりました。

・無観客ではありましたが、昨年延期となった「東京2020オリンピック」が開催され、Jリーグ・プロ野球も無事開催することができ、総イベント開催日数は、前期比16日増の115日となりました。また、総来場者数につきましても、昨年に続きJリーグ・プロ野球での人数制限はあったもののイベント来場者数は前期を大きく上回り、前期比59.0%増の75万8千人となりました。

・開業以来実施してきた改良工事等については、利用者サービス向上として「トイレ洋式化改修」、主催者サービスとして「内野フェンス・ゲート看板LED広告化」など、総額2億44百万円の工事を実施し、その成果物を札幌市に寄付しました。

・業務用サーバ・ネットワーク機器、業務用パソコン、会議室プロジェクトの更新などで、総額10百万円の設備投資を行いました。

2. 役員一覧

代表取締役社長	山 川 広 行	
取締役副社長	石 川 敏 也	札幌市 副市長
専務取締役	吉 田 圭 吾	当社事業本部長
取 締 役	紫 藤 正 行	札幌商工会議所 副会頭
同	鍋 島 芳 弘	北海道電力(株)常務執行役員
同	八 木 涉	(新任) 北海道瓦斯(株)常務執行役員
同	二 階 堂 敏 文	(株)北海道新聞社 取締役企画室長
同	森 本 光 俊	(新任) サッポロビール(株)上席執行役員北海道本社代表兼北海道本部長
同	沖 津 充 男	(株)電通北海道 代表取締役社長執行役員
常 勤 監 査 役	鈴 木 敏 哉	
監 査 役	草 薨 金 矢	草薨金矢税理士事務所 所長
同	石 田 裕 一	(株)北洋銀行 執行役員公務金融部長

3. 当社による施設改修の取り組みについて

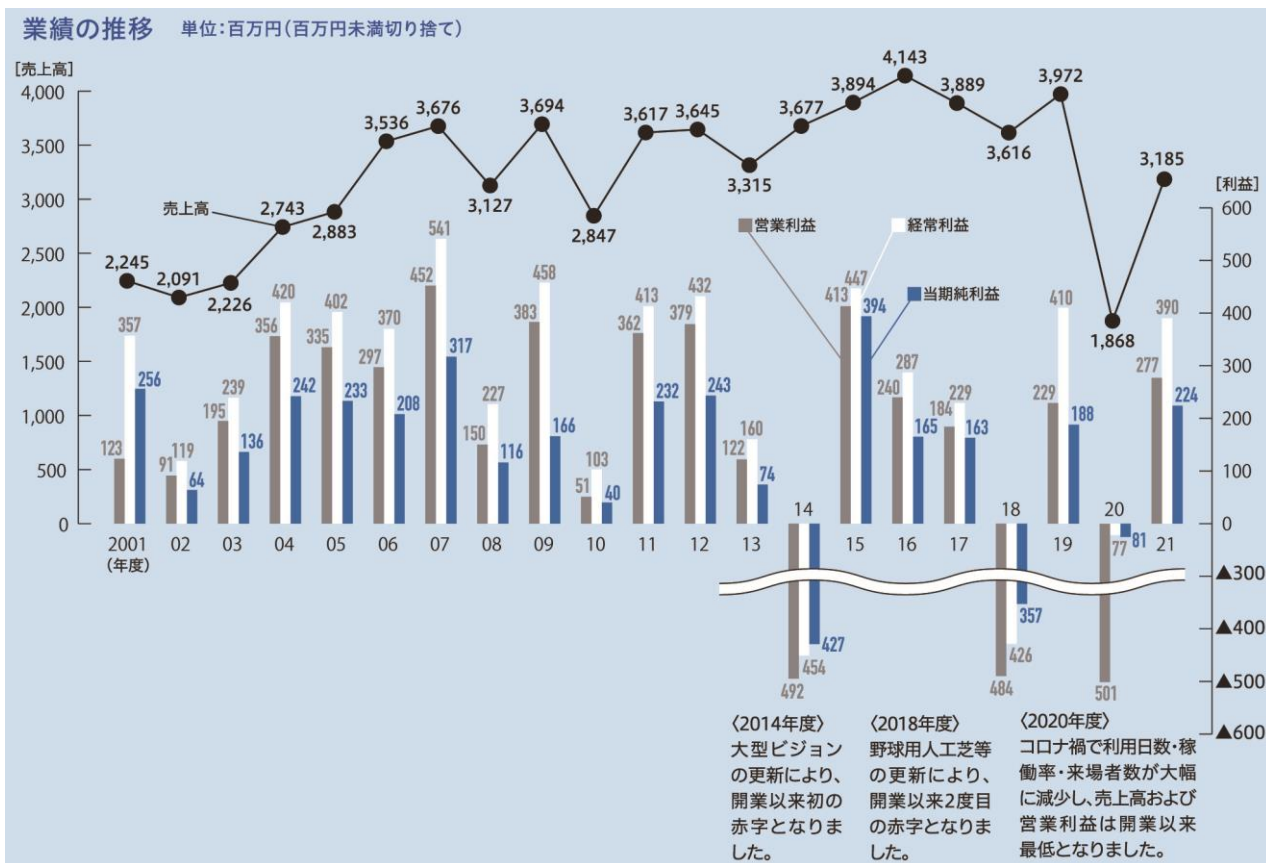
当社の収入および利益は、公共の施設である札幌ドームの維持管理やお客さまの利便性、サービスの向上、選手のプレー環境整備のための施設改修などを通して、市民の皆さまや主催者さまに還元させていただいております。お客さまや主催者さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施してきており、これまでの総額は約 60 億円超となっております（一覧表参照）。

年度	主な工事	合計金額
2001 年度	サイン関連工事	1 億 62 百万円
2002 年度	スタンド席手すり設置	2 億 81 百万円
2003 年度	バックネット取り換え	1 億 41 百万円
2004 年度	野球用人工芝更新 ※1 回目 移動式チケット売り場設置	4 億 63 百万円
2005 年度	コミュニケーションスペース設置	1 億 49 百万円
2006 年度	大型複合遊具「キッズパーク」新設 メインスタンド（バックネット裏席）改良	3 億 97 百万円
2007 年度	車いす席改良 トイレ洗浄便座化	1 億 97 百万円
2008 年度	フィールドシート設置	2 億 21 百万円
2009 年度	1F コンコース喫煙室の売店化（現 サブウェイ）	1 億 65 百万円
2010 年度	トイレ一部洋式化改修（2014 年度まで毎年実施）	65 百万円
2011 年度	スタンド席カップホルダー整備 バルコニーシート改修（現 スカイボックスシート）	1 億 97 百万円
2012 年度	野球用人工芝更新 ※2 回目 1F コンコース喫煙室の売店化（現 築地銀だこ）	5 億 06 百万円
2013 年度	グッズ☆ジャム拡張	2 億 80 百万円
2014 年度	大型ビジョン更新	8 億 76 百万円
2015 年度	トイレのハンドドライヤー設置 B2F トイレ一部洋式化改修	87 百万円
2016 年度	スタンド席手すり増設 2F 女性用トイレ増設	3 億 06 百万円
2017 年度	北チケット売場 A 改修 1 階コンコースマルチディスプレイ増設	3 億 49 百万円
2018 年度	エスカレーター設置 野球用人工芝更新 ※3 回目	7 億 77 百万円
2019 年度	2 階屋外テラス仮設トイレ設置 トレーニングルーム関連整備	1 億 43 百万円
2020 年度	シャトルバスターミナル点字ブロックおよび照明増設 トレーニングルーム関連整備	44 百万円
2021 年度	トイレ洋式化改修 内野フェンス・ゲート看板 LED 広告化	2 億 44 百万円
合計	当社負担で実施した改良工事等の累計金額 （2001 年度～2021 年度実施分）	60 億 62 百万円

（税抜 百万円未満切り捨て）

<資料>

■業績の推移



■利用日数および稼働率の推移

